

防犯教室
護身術は
難しい！
十一月十二日「防犯教室」を
帯広警察署の協力のもと
実施した。講師は生活安
全課の職員2名が務め、
護身の概念や実技練習を行つた。
相手との間合いを取ることや体
の中心線を守ることなど、生徒

危険予測が護身の極意

（赤坂俊太郎）
であることを知る学習会となつ
た。

十一月十二日「防犯教室」を
練習中「難しい」や「実際に」
はない。危険を予測して近づか
ないことが一番
大切」と講師は
強調していた。

薬物の種類と症状

主な薬物	症状
覚醒剤、MDSA、珈琲	興奮作用
LSD、マジックマッシュルーム、大麻、有機溶剤(ソーラー等)	幻覚作用
阿片(ヒロイド等)、向精神薬	抑制作用

十一月十二日「防犯教室」を
練習後、「危険な時間帯や場所
であります」という感想が出された。
「危険な時間帯や場所」について
話を聞いていた。（大川光洋）

十一月十二日「防犯教室」を行つた。
出されたが、「安全な時間や場所
や麻薬取締法違反の罪で
有罪となり、大学生の大
麻乱用も事件となつた。

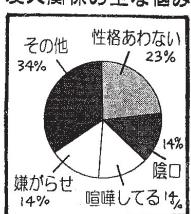
編集後記

（金子彩華）

いじめ防止キャンペーン 「てとて運動」始動

帯広第四中学校では生徒会を中心に「てとて運動」～手と手を取り合い仲間の和（輪）を広げよう～というキヤッチコビーで、全校あげてのいじめ防止活動を実施している。七月二十三日、中学の配布と一斉挨拶運動を実施。さらに校内外を花で装飾し「花と夢の空間」を演出した。挨拶を交わすことから関わりをつく

友人関係の主な悩み



先日、芸能人が覚醒剤や麻薬取締法違反の罪で有罪となり、大学生の大麻乱用も事件となつた。

人生を狂わす甘い誘惑

薬物の危険性再認識

その中で、帯広第四中学校では「薬物乱用防止教室」が行われ、帯広警察署の職員を講師に招いて「薬物の危険性」について学習会を行つた。薬物の種類や症状（表参照）、脳が破壊されることが止めることができない」と、止めることができないことなど、講師はスライドを使って丁寧に説明していた。また「やせる

心で人生を狂わせてしまうケースが多いという実話から「身近にある誘惑に絶対にのらないこと」を強調していた。参加した生徒は「危険とは知っていたが具体的によくわかった」と学習の感想を話していた。（大川光洋）

積極的な関わりを

り、憩いの場でぶれ合う

こと目的としている。
また、生徒会を経て十

月に「いじめ防止標語コンクール」を実施。全

校生徒の作品から学年ごとに審査、賞が付けられた。現在全作品は廊下に



新聞部

一年生のアンケート調査によると、友人関係で悩む主な原因是、性格や陰口等であった（グラフ）

いずれもお互いに分かり合つことで解決できるもの。今後も「てとて運動」で積極的な関わりを持ちいじめ防止、輪を広げる活動に期待したい。

四中みそ 試食が楽しみ

六月十七日、生徒は

煮豆を麺棒で漬し、米麹と塩を混ぜた塩麹を

今年、JR帯広駅の地下に「市民ギャラリー」が開館した。大小様々な

作品が市民より出展され、鐵道利用客の他、一般市民の姿も多い。

市民ギャラリーを訪ねて見つけた芸術の秋